

# 2023 年度 事業活動計画

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日)

## 1. 2023 年度当協会を取り巻く状況

2020 年から始まった 3 年にわたる新型コロナウイルスの感染拡大は、観光業や飲食業をはじめ様々な分野に影響をもたらしましたが、コロナ渦は徐々に落ち着きを取り戻し、今年の 5 月には感染症法上の分類を 5 類に引き下げるまでに至りました。

これにより、感染者や濃厚接触者の就労制限の軽減やサービス消費の改善等、コロナ渦前の日常回復への出口が見えてきたと言えます。

その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻は今なお収束の兆しが見えず、原材料やエネルギー価格の高騰、物価の上昇が依然として日本経済に大きな影響を及ぼしています。

また、経済活動を再開する中で観光業界を中心に人手不足が深刻化しており、今後はトラック運転手の労働時間規制を強化する 2024 年問題への対応などが大きな課題となるなど人手不足に備える動きがさらに活発化すると思われます。

さて、今年札幌市で開催された G7 気候・エネルギー・環境相会合は、海洋プラスチックごみによる新たな汚染を 2040 年までにゼロにする目標で合意しました。これは 2019 年の G20 で決めた 2050 年の目標を 10 年前倒しすることになり、海洋プラスチックごみ対策への積極姿勢を示す結果となりました。

我が国は一人当たりの使い捨てプラスチック容器包装の排出量が米国に次ぐ世界 2 位です。プラスチックごみの排出や廃棄を規制する国際条約作りも始まり、5 月末にパリで開催された政府間交渉で本格的な議論をはじめ、2024 年末までの合意を目指しています。

今後ますますプラスチック製品のリサイクルの徹底や使用の抑制、代替材への切り替えなどが進行し、プラスチックごみを捨てずに回収し、適切にリサイクルをする仕組みづくりが不可欠となるものと思われます。

当協会ではこれまでプラスチック新法や資源循環戦略、ポジティブリスト等に関する幅広い情報を収集し、技術委員会にて関連するテーマを取り上げてきましたが、今後も環境や容器包装に関連する情報を軸に、キャンプ業界に役立つ情報を提供してまいります。

この他、会報誌キャップ春秋の発行、ホームページを活用した情報の提供や各種お問い合わせへの対応、及び、大崎フォレストビルディングのプラスチックキャップ回収窓口などの活動を引き続き行ってまいります。

尚、今年度の当協会の事業の実施に当たりましては、引き続き感染予防に注意を払いながら、極力対面による開催をさせて頂く所存ですので、ご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

## 2. 事業活動計画

### 2-1. 技術委員会の活動について

定例技術委員会は従来通り2か月に一度、奇数月に開催する予定です。

今期の開催方法は、対面により委員間の直接的な交流場面を増やす予定ですが、参加しやすい環境を残す事を目的としてWEBとの併用を計画しております。

PET ボトル用キャップなどの環境対応に関する諸課題につきましては、ワーキンググループを適宜開催し、今後協会として「何を、どのように」対応していくべきなのか議論していきたいと考えます。また、引き続き各業界の自主回収の仕組み作りや実証実験、水平リサイクルや再生プラスチックなど環境に関する情報や容器包装に関する情報収集に注力し、会員企業の皆様へ情報伝達致します。

この他、ポジティブリストの改編と再整理に関する進捗状況や用途別規格改正につきましても、引き続き関係省庁の情報を注視しながら、業界団体との直接的な接点を増やし、適切な対応を検討してまいります。

### 2-2. 定時社員総会・定時理事会の開催

### 2-3. 厚労省 食品用容器包装の用途別規格改正に関するワーキンググループの参加

### 2-4. 見学会の開催

環境学習を兼ねプラスチック容器メーカーリサイクル工場の見学を10月3日(火)に予定しています。

### 2-5. 懇親ゴルフ大会の開催

今年度は11月2日(木)戸塚カントリー倶楽部での開催を予定しています。

#### **2-6. 会報誌キャップ春秋の発行**

2023年度における技術委員会の活動や見学会の内容、その他当協会の活動内容などを掲載する予定です。前年度よりコスト削減とペーパーレス化推進の為、会員企業の皆様へPDFをメール送信しており、今後もPDF化を継続してまいります。

#### **2-7. ホームページを活用して情報発信**

2023年度事業計画や会員情報などの変更事項、会報誌キャップ春秋の掲載などを行います。

#### **2-8. 大崎フォレストビルディングのプラスチックキャップ回収窓口**

今年度も大崎フォレストビルディングでの回収窓口を継続します。

#### **2-9. 協会への問い合わせ対応**

前年度は27件のお問い合わせを頂きました。  
引き続き真摯に対応させて頂く所存です。

以 上